

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成20年12月25日 (2008.12.25)

【公表番号】特表2008-522497(P2008-522497A)
 【公表日】平成20年6月26日 (2008.6.26)
 【年通号数】公開・登録公報2008-025
 【出願番号】特願2007-543430(P2007-543430)
 【国際特許分類】

H 0 4 L 12/28 (2006.01)

H 0 4 Q 7/38 (2006.01)

【F I】

H 0 4 L 12/28 3 0 0 Z

H 0 4 B 7/26 1 0 9 A

H 0 4 L 12/28 3 0 3

H 0 4 L 12/28 3 0 7

【手続補正書】

【提出日】平成20年11月10日 (2008.11.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

移動局と、

該移動局をネットワークに接続するアクセスポイントと

を備えるシステムであって、

該移動局は、第 1 の作動モードと第 2 の作動モードとを有し、

該第 1 の作動モードは、該移動局が、さらなる移動局を対象としたデータパケットを該アクセスポイントに送信し、該アクセスポイントが、該さらなる移動局に該データパケットを送信することを含み、

該第 2 の作動モードは、該移動局が、該さらなる移動局を対象とした該データパケットを該さらなる移動局に直接的に送信することを含む、システム。

【請求項 2】

前記移動局が、前記さらなる移動局のハードウェアアドレスを格納するテーブルを含む、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 3】

前記ハードウェアアドレスが、該ハードウェアアドレスに関連づけられるタイマー値を有する、請求項 2 に記載のシステム。

【請求項 4】

前記タイマー値が限界値に達するときに、前記ハードウェアアドレスが前記テーブルから除去される、請求項 3 に記載のシステム。

【請求項 5】

前記移動局が、前記タイマー値の満了の前に、前記第 2 の作動モードを使用して前記さらなる移動局と通信を開始する、請求項 3 に記載のシステム。

【請求項 6】

前記移動局が、前記さらなる移動局から前記アクセスポイントに送信された肯定応答信号を聞くとともに、該移動局が前記第 1 の作動モードから前記第 2 の作動モードに切り替わ

る、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 7】

前記さらなる移動局が、前記移動局の無線周波数有効範囲領域に入るときに、該移動局が前記第 1 の作動モードから前記第 2 の作動モードに切り替わる、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 8】

前記さらなる移動局が、前記第 1 の作動モードと前記第 2 の作動モードとを使用して、さらなるデータパケットを前記移動局に送信する、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 9】

前記さらなる移動局が、前記移動局のハードウェアアドレスを格納するテーブルを含む、請求項 8 に記載のシステム。

【請求項 10】

前記移動局が、前記データパケットを前記さらなる移動局に送信するために前記第 2 の作動モードで作動し、該第 2 の作動モードから離れることなく、データパケットを追加の移動局に送信するために前記第 1 の作動モードで作動する、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 11】

プロセッサと、

該プロセッサ上での実行のための命令のセットを格納するメモリと
を備える移動局であって、

該命令のセットは、第 1 の作動モードと第 2 の作動モードとを含み、

該第 1 の作動モードは、移動局が、さらなる移動局を対象にしたデータパケットをネットワークに接続されたアクセスポイントに送信し、該アクセスポイントが、該データパケットを該さらなる移動局に送信することを含み、

該第 2 の作動モードは、該移動局が、該さらなる移動局を対象とした該データパケットを該さらなる移動局に送信することを含む、移動局。

【請求項 12】

前記移動局が、前記さらなる移動局のハードウェアアドレスを格納するテーブルを含む、請求項 11 に記載の移動局。

【請求項 13】

前記ハードウェアアドレスが、該ハードウェアアドレスに関連づけられるタイマー値を有する、請求項 12 に記載の移動局。

【請求項 14】

前記タイマー値が限界値に達するときに、前記ハードウェアアドレスが前記テーブルから除去される、請求項 13 に記載の移動局。

【請求項 15】

前記移動局が、前記第 2 の作動モードから離れることなく、データパケットを追加の移動局に送信するために前記第 1 の作動モードで作動する、請求項 11 に記載の移動局。

【請求項 16】

移動局に送信されたメディアアクセス制御フレームのフィールドをチェックすることと

、
該フィールドにおける値に基づいて、該移動局の送信電力を調節することと、
該調整された送信電力を使用して、次のメディアアクセス制御フレームを送信すること

と
を包含する、方法。

【請求項 17】

前記フィールドが、タイプフィールドとサブタイプフィールドとのうちの一つである、請求項 16 に記載の方法。

【請求項 18】

移動ユニットを宛先とするデータパケットをアクセスポイントに送信することと、
該アクセスポイントによる該移動ユニットへの該データパケットの送信と、該移動ユニ

ットによる該アクセスポイントへの肯定応答の送信とのうちの一つに耳を澄ますことと、
該耳を澄まされた送信のうちの一つが検出されるときに、該移動ユニットのアドレスを
テーブルに追加することと、

該アドレスが該テーブルの中に存在するときに、該移動ユニットを宛先とするさらなる
データパケットを該移動ユニットに直接的に送信することと

を包含する、方法。

【請求項 19】

前記アドレスが、メディアアクセス制御アドレスである、請求項 18 に記載の方法。

【請求項 20】

前記アドレスに関連づけられるタイマー値が満了するときに、該アドレスを前記テー
ブルから除去することをさらに包含する、請求項 18 に記載の方法。

【請求項 21】

前記移動ユニットが前記さらなるデータパケットを受信した後に、該移動ユニットから
肯定応答を受信することをさらに包含する、請求項 18 に記載の方法。

【請求項 22】

肯定応答の受信の前にタイマーが満了するときに、前記さらなるデータパケットを前記
移動局に再送信することをさらに包含する、請求項 18 に記載の方法。

【請求項 23】

肯定応答の受信の前にタイマーが満了するときに、前記さらなるデータパケットを前記
アクセスポイントに再送信することをさらに包含する、請求項 18 に記載の方法。

【請求項 24】

移動局と、

該移動局をネットワークに接続するアクセスポイントと

を備えるシステムであって、

該移動局は、第 1 の作動モードと第 2 の作動モードとを有し、

該第 1 の作動モードは、該移動局が、さらなる移動局を対象としたデータパケットを該
アクセスポイントに送信し、該アクセスポイントが、該さらなる移動局に該データパケッ
トを送信することを含み、該アクセスポイントは、該データパケットの送信が検出された
ときに、該移動局のアドレスをテーブルに追加し、

該第 2 の作動モードは、該さらなる移動局のアドレスが該テーブルに存在するときに、
該移動局が、該さらなる移動局を対象とした該データパケットを該さらなる移動局に直接
的に送信することを含む、システム。

【請求項 25】

前記さらなる移動局は、第 1 の作動モードと第 2 の作動モードとを有し、

該第 1 の作動モードは、該移動局が、さらなる移動局を対象としたデータパケットを前
記アクセスポイントに送信し、該アクセスポイントが、該さらなる移動局に該データパケ
ットを送信することを含み、

該第 2 の作動モードは、該移動局が、該さらなる移動局を対象とした該データパケット
を該さらなる移動局に直接的に送信することを含む、請求項 1 に記載のシステム。